



令和のはじまりに詩歌に親しむ

短歌や俳句に触れてみよう



こども「折々のうた」100

10歳から読みたい日本詩歌の決定版！

大岡 信/著 小学館 911才

古代から現代の作者まで、今から知っておきたい短歌と俳句を紹介しています。味わい方がわかってくると、読むことが楽しくなります。

はじめての万葉集(上・下)

萩原 昌好/編 あすなろ書房 911ハ

新元号「令和」の出典(しゅってん)「梅花の歌序」をはじめ、万葉集の代表的なうたと時代背景を解説しています。万葉集の入門編。

南風吹く

森谷 明子/著 光文社 913.6 ㄱ

舞台は前作『春や春』と同じ年の俳句甲子園で、別の高校が主役です。瀬戸内海に浮かぶ島で生まれ育った少年少女たちが新風を起こす！

17音の青春 2019

五七五で綴る高校生のメッセージ

神奈川大学広報委員会/編
角川文化振興財団 911ジ

「いま」を生きる高校生のうた。若者らしい、みずみずしい感動がここにあります。近隣の学校の入選作品もあり、俳句が身近に感じられます。

タイムボックス

アンドリ・S.マグナソン/著

NHK 出版 949ア



タイムボックス。それは時間を止める魔法の箱。中に入った人間は永遠に生きられるのだが、はたしてそれは幸せなのか？ 古代の王国と現代、時空を超えて行き来する、ふたつの世界の物語。

さわるようにしくみがわかる

コンピュータのひみつ

原田 康徳/著 技術評論社 007ハ

スマホ、テレビ、自動車。私たちのまわりにあふれるコンピュータは、どのように動いているのか？ トランプやカードを使って、楽しみながらコンピュータの「しくみ」を探ってみましょう！



ねったい 熱帯

森見 登美彦/著

文藝春秋 913.6 ㄱ

読書会で見かけた奇妙(きみょう)な本『熱帯』。それは、どうしても「読み終わられない本」だった。その真の意味とは？ 何度も読み返したくなる本。

第6回 高校生直木賞 受賞作

若い読者のための『種の起源』

入門生物学

チャールズ・ダーウィン/著 あすなろ書房 467ダ

1859年に出版され、世界に大きなインパクトを与えた『種の起源』。徹底して「観る」、論理的に「考える」の積み重ねが実を結んだ生物学の基礎です。「自然観察が大好きだ！」という人におすすめ。

54字の物語 史

超短編小説で学ぶ日本の歴史

氏田 雄介・西村 創/著 PHP 研究所 913.6ウ

1つの話が54字という超ショートショート集。歴史上の出来事や実在した人物をテーマに、空想を織り交ぜた作品を収録。「どういうこと？」と思っただ物語ほど、意味がわかると気持ちいい！

まなの本棚

芦田 愛菜/著 小学館 019ア

年間100冊以上も本を読むという愛菜さん。普段、どのように本を選んで読んでいるのか、どんなことを感じているのか、読書愛まんさいで伝えてくれます。本選びに迷う人は、まずこの本をどうぞ。